

高齢者施策

問 いきいき百歳体操のコロナ感染防止対策が終わったら、一律全会場で再開するのか伺う。

答 すでに一部では再開しているが、コロナ禍前と同様にすべての会場で開催できるとは考えていない。個々の状況に応じて感染対策に問題のないところから再開していきたい。

問 高齢者の総合相談対応について伺う。

答 地域包括支援センターなどの窓口で各種相談をお受けした際に、様々なサービスをご案内するなど幅広い支援をしており、今後も同様に取り組んでいく。

問 成年後見制度の周知や利用促進に向けた方策としてどのようなことに取り組むのかを伺う。

答 地域の会合などに出向いたり、高齢者施設や障がい者施設の相談員との連携を強化して周知を進めることで、気軽に利用いただける環境を整えたい。

市立病院看護師確保対策

問 市立病院の病床数を維持するために必要な看護師は確保されているのか伺う。

答 現時点で人数の確保は厳しいが、安定的な経営基盤を確立するためにも看護師確保は大変重要である。看護師を目指す学生への助成や院内保育所などの現職看護師への支援などを通じ、今後も看護師確保に向けた努力をしていく。



銀川団地改修

問 銀川団地の改修によりエレベーターが使えなくなるときの居住者の対策は。

答 大きな荷物や重い物の運搬補助については施工業者が対応することとしており、依頼等は直接業者に連絡いただくことになる。

市営団地の災害対策

問 ブラックアウトなどの災害発生時における市営団地の給水対策は。

答 新町団地と見晴団地は直圧方式への改修を終えているが、銀川団地については、直圧方式では配水できないため、今後も受水槽方式で管理をしていく。受水槽方式の啓南団地も今後検討しながら順次対策を行っていく。

特定検診の受診状況

問 コロナ禍での特定健診の受診状況と受診率向上対策は。

答 コロナの影響により、集団検診は、前年に比べ受診率で4%、約250名減少しているが、個別検診で医療機関への受診勧奨の協力依頼などを行ったことから受診率は盛り返している状況にある。引き続き、感染予防対策と並行し受診率向上に努めていく。

脳ドック事業について

問 脳ドックを受診できる医療機関数と市民の費用負担は。

答 滝川脳神経外科病院と脳神経よしだクリニックの2つの医療機関で受診できる。受診者負担分は本人が5,000円、保険者負担分が19,750円となっている。